

バイオガソリン販売エリアの拡大について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、来る4月1日から、茨城県を中心とする関東69ヶ所(茨城:56、千葉:13)のJOMOステーションで新たにバイオガソリンを販売します。
2. バイオガソリンとは、バイオエタノールと石油系ガスを合成したバイオETBE(エチル・ターシャリー・ブチル・エーテル)を1%以上の割合で配合したガソリンのことで、カーボンニュートラル(注)の概念から二酸化炭素(CO₂)の排出量抑制に効果があるとされています。
3. 長野県では、森林の健全な育成を図るため、環境保全活動に取り組む企業・団体と森林を保有する市町村等が連携して森林整備に取り組む「森林の里親促進事業」を推進しており、その一環として、企業・団体が整備した森林の二酸化炭素吸収量を、気候変動に関する政府間パネルのガイドラインに準じた長野県独自の方法で評価・認証する制度を2008年10月に創設しています。

(注) カーボンニュートラル

バイオ燃料は、原料である植物が成長過程でCO₂を吸収していることから、燃焼によってCO₂を排出しても大気中のCO₂の総量を増加させないという考え方。

4. 当社は、昨年11月、子会社である鹿島石油株式会社の鹿島製油所(所在地:茨城県神栖市)内にバイオETBEを受け入れるためのタンク(容量:5千KL)を新設し、本年1月下旬から同製油所でバイオガソリンの生産を始めています。
5. これにより茨城県を中心とするエリアへのバイオガソリンの出荷が可能となり、現在販売している首都圏の8ヶ所(埼玉県:3、東京都:2、神奈川県:3)を加え、本年4月から合計77ヶ所のJOMOステーションでバイオガソリンを取り扱うこととなります。

以上